

笑顔とチャレンジがあふれるまち ならは

広 報

ならは

2025 JAN. 第660号

1

特集

年男・年女 -わたしの目標-

ならは農福フェス2024

●表紙PHOTO:木戸川 白鳥の飛来



2025 年男・年女

わたしの
目標

明けましておめでとうございます。
2025年は「巳」が主役の年です。

巳年は、へびが脱皮をする様子から、新しいことがはじまる年など、
新しい挑戦や変化に対して前向きな姿勢を示す年とも言われています。
また、巳年生まれの人には、へびの習性から
「努力を惜しまない」「粘り強い」「情熱的」な人が多いと言われています。
そんな巳年生まれの小学5年生に将来の夢や今年の抱負を書いてもらいました!





檜葉町長

松本 幸英



あけましておめでとうござい
ます。
皆様におかれましては、令和
7年の新春を健やかに迎えの
こととお慶び申し上げます。

今年の干支は巳（み・へび）。
十干十二支でいえば「乙巳（きの
と・み）」にあたり、蛇が脱皮し
新たな姿に生まれ変わるイメージ
から、「再生と変化」を表している
そうです。思えば檜葉町は町民
の皆様と共に、数多くの再生と
変化を続けて参りました。中には
我々が望まず変化を強いられ
しまったもの、変わってしまった
ものも少なくないと思います。
ですがそうして数多くの変化
を経験してきた檜葉町は今、
様々な取り組みが花開きはじめ
ており、多くの方々の繋がりに
改めて感謝を感じているとこ
ろです。

として掲げる本町にとって大きな
前進がございました。またウオー
キングトレーナーのデューク更家
氏を町アンバサダーに任命し、
町の健康増進、フレイル予防事業
への協力をいただいております。
一昨年より始まったギリシャ、
オリンピア市との交流においては、
檜葉小学校の代表4名による
訪問が実現し、オリンピアの児童
又は子どもたちとの交流や、異
文化に触れる経験を積んでもら
うことができました。町の新た
なチャレンジである甘藷栽培に
ついても、現在檜葉町産の干し
芋が東京都JR駅内の販売店
23店舗において販売、好評をい
だいており、引き続き農業振興、
販路拡大にも力を入れて参り
たいと考えております。

まだまだ本町の「再生」に向け
ては道半ばの我々ではあります
が、今年も新しいチャレンジを続け
ながら、「変化」を恐れず、楽しま
ながら、町民の皆様と共に邁進
して参りたいと考えております。
本年もどうぞよろしくお願
い申し上げます。

新年のごあいさつ



檜葉町議会議員

青木 基

新年明けましておめでとう
ございます。

町民皆様におかれましては輝
かしい新年をお迎えのことと、
心よりお慶びを申し上げます。
また、日頃より議会への深いご
理解とご協力、更には議会活動
に対する温かいご支援など、改め
まして厚く御礼申し上げます。

さて、昨年度を振り返りますと、
新年早々に能登半島において
大地震が発生し多くの犠牲者と
ともに甚大な被害をもたらした
引続き9月には豪雨災害と二重
の災難に見舞われたことは記憶
に新しいところであり、当町に
おける14年前の東日本大震災・
原発事故を思い起こさせること
となりました。被災者に対しお見
舞い申し上げますとともに、
被災地の一日も早い復旧・復興
を願うばかりであります。

このような中、全国的な課題
でもある人口減少の波は、当町
も例外なく共有する問題として、
今まさに移住、定住施策を推進
すべく様々な事業を展開して
おりますが、被災地域としての
デメリットもあり思うように
進まない状況にもあります。
迎える令和7年度は、「第2期
復興創生期間」も残り1年と
なり、町勢進展の新たなスケー
ジに向けた重要な年ともなること
から、町民の安心・安全は基より、
更なる生活環境の整備による
満足度向上に向けて事業の展開
を図ることが必要であると考えて
います。

町議会としましては皆様の
ご期待に応えるべく「町民主役」
を大原則に、当面する様々な
課題を国、県、関係団体に力強
く発信するなど、町政の一翼を
担ってまいれる所存であります。
今後とも町民皆様のご指導
ご鞭撻をお願い申し上げます。
結びに、本年が皆様にとって
素晴らしい一年でありますよう
ご祈念申し上げます。新年の
ご挨拶とさせていただきます。

令和6年度 檜葉町中学生室が 始まりました

町では、「子どもたちの声を町政に
活かす」という目的で平成29年度から
「中学生室」を設置しています。
メンバーは町から委嘱された檜葉
中学校の生徒2名で、11月に今年度
はじめの活動を開始しました。



どのようなアイデアが生まれて
くるのか大きな期待が寄せられます。

「救えますか いざという時 その命」

9月22日、町内施設において迅速
な救命活動の結果、救われた命があり
ました。

今回、緊急時に少しでも多くの方
が救命活動に携われるよう、富岡
消防署及び町消防団の協力を得て
11月27日に檜葉町普通救命講習を
実施しました。



JA EA 檜葉遠隔技術開発
センター（NARREC）の見学者
が11月29日に通算3万人に到達し、
セレモニーが開催されました。3万人
目となったふたば未来学園中学校
の皆さんには記念品として町産の
ゆずドレッシングと干し芋が贈呈
されました。

NARRECでは随時見学を
受け付けています。ご希望の方は
左記までご連絡ください。

☎0240-26-11040（代表）

NARREC見学者 通算3万人を達成

ふるさと福島檜葉会 交流会を開催しました

12月1日に、TKP 東京駅カンファ
レンスセンターにおいて、ふるさと福島
檜葉会の交流会を開催しました。

本会は、主に首都圏在住の町出身者
などと連携を密にし、町の魅力・情報
発信を通じて、会員相互の交流と親睦
を図り、本町の発展に寄与することを
目的としています。

当日は31名の会員が出席され、自己
紹介や檜葉町にまつわるクイズなど
をとおして、町アンバサダーとともに
会員同士の交流と親睦を深めることが
できました。



アンバサダーの村田雄浩さんが会場を盛り上げてくれました

4日目 11月14日(木)

オリンピア小学校にて、オリンピア小学校長はじめ、全学年の教職員及び児童約100名と、折り紙、紙風船、浦安の舞、スポーツチャンバラなどとおした交流を行いました。



オリンピア小学校児童と折り紙・紙風船・舞・スポーツチャンバラを通して交流を行った。

8日目 11月18日(月)

日本に帰国後、駐日ギリシャ大使館にて、アルギロス・ニコラオス大使にオリンピア小学校やザハロ小学校での学習交流の様子や、経験したことを動画など交えて報告しました。



日本に帰国後、大使に訪問中の活動の様子を伝えた。

- 次月号では、令和6年12月15日みんなの交流館ならはCANvasで行われた、檜葉町ギリシャ共和国訪問交流事業の様子をお伝えする予定です。
※訪問した檜葉小学校児童4人のメンバーによる発表の様子を紹介いたします。

3日目 11月13日(水)



古代オリンピア市長に町の復興状況等を英語でプレゼンを実施した。

オリンピア市役所にて、古代オリンピア市長(アリストティディス・パナギオトポウロス)、副市長2名、オリンピア小学校長へ、これまでのギリシャとの交流の経緯やこれからの交流活動について紹介しました。

5日目 11月15日(金)



ザハロ小学校では、合唱などを通して交流を図った。

ザハロ小学校(古代オリンピア市より南に40km離れた所)にて、学習交流を行いました。ザハロ小学校児童より、「さくらさくら」を日本語で合唱いただき、檜葉小学校6年生4人も一緒に合唱を行いました。

オリンピックの聖火採火式が行われる。
オリンピア遺跡ヘラ神殿跡での一枚



檜葉小学校6年生4人が

ギリシャ共和国へ訪問

2日目 11月12日(火)

ギリシャ到着後、在ギリシャ日本国大使館ホールにて、根本貴章参事官(福島市出身)ほか大使館職員に対し、ギリシャで発表する英語でのプレゼン内容を事前に披露。(内容は、東日本大震災の様子、町の復興状況など)また、13日から交流の際に使用する、折り紙、紙風船などを大使館職員に実演しました。



大使館職員と紙風船で交流する児童

渡航目的

本町では、福島県教育委員会の「チャレンジ!子どもがふみだす体験活動応援事業」補助金などを活用して、令和6年11月11日～18日の8日間、ギリシャ共和国古代オリンピア市などを訪問いたしました。

訪問者は、檜葉町教育長をはじめとする町関係者及び檜葉小学校6年生、上野桜さん、尾畑風英さん、新妻結月さん、森田風翔さんです。

今回の訪問では、震災から復興している福島や本町の現状を伝承・発信することや、日本ギリシャ文化観光年の一環として、日本の文化や伝統を伝えること、そして、子どもたちが海外の生活や風習、文化を直接体験することで広く国際感覚を養うことが目的でした。

また、昨年、本町では、町長らが古代オリンピア市を訪問した際、「教育」「産業」「文化」などの各分野において、幅広く交流していく覚書も締結しており、特に「教育」分野においては、今年度から

檜葉町地域学校協働センター(ならはっ子こども教室)と古代オリンピア小学校との間で、オンライン交流を実施しております。

活動の様子を紹介

1日目 11月11日(月)



職員約20名を前に英語でプレゼンする児童

出発前、文部科学省にて、文部科学省などの職員約20名を前に、町の復興状況や、ギリシャで行う英語でのプレゼン内容等、子ども達が自ら考えた地域学校協働活動に関するプレゼンを発表しました。



『会津人が書いた
只見線各駅物語』
鈴木信幸／著（言視舎）



『日本全国 なるほど
都道府県の名前由来辞典』
富樫純一／監修
グラフィオ／編
さがわゆめこ／画
（金の星社）

時代にはすでに使われていたようですが、この地に伝わる「吹島」の伝説が、名前の由来と考えられているそうですよ。その続きはぜひ本書で読んでみてくださいね！

【おすすめの本】
（一般図書）
『会津人が書いた只見線各駅物語』
鈴木信幸／著（言視舎）
全国屈指の秘境路線として人気のあるJR只見線は、福島県の会津若松駅と新潟県魚沼市の小出駅の全長約135kmを結ぶローカル鉄道です。2011年7月の新潟・福島豪雨で甚大な被害を受けましたが、2022年10月に11年ぶりに全線での運転が再開されて、連日多くの鉄道ファンで賑わっています。本書は、その只見線36駅に、廃駅となった2駅を加えた38駅と、その周辺の人々の

鈴木信幸／著（言視舎）

開室時間：午前9時～午後5時
休室日：年末年始12月28日（土）
～2025年1月4日（土）
1月6日（月）、13日（月・祝）、
20日（月）、27日（月）、2月3日（月）



（児童図書）
『日本全国 なるほど
都道府県の名前由来辞典』

富樫純一／監修、グラフィオ／編
さがわゆめこ／画
（金の星社）

暮らした歴史、自然、文化、名所旧跡などを、会津人ならではの視点で丁寧に紹介しています。著者は会津坂下町出身のフリージャーナリスト・鈴木信幸さん。カバー写真は、只見線ブームの火付け役でもある奥会津の郷土写真家・星賢孝さんの作品「第一只見川橋梁」です。

新着図書

【一般図書】

- 『大学的福島ガイド』
福島大学行政政策学類／編（昭和堂）
- 『日本人の7割が知らない世界のミカタ』
佐藤優、古谷経衡／著（時事通信出版局）
- 『りんごのお菓子づくり』
今井ようこ、藤沢かえで／著（誠文堂新光社）
- 『耳に棲むもの』
小川洋子／著（講談社）
- 『架空犯』 東野圭吾／著（幻冬舎）
- 『富士山』 平野啓一郎／著（新潮社）
- 『新・富良野風話』
倉本聰／著（財界研究所）

【児童図書】

- 『小学生になったら図鑑 新訂版』
長谷川康男／監修（ポプラ社）
- 『奇妙で不思議な樹木の世界』
ジェン・グリーン／文、英国王立園芸協会／監修（創元社）
- 『わかったさんのスイートポテト』
永井郁子／作・絵、寺村輝夫／原案（あかね書房）
- 『ひとつだけ守りたいもの』
リンダ・スー・パーク／作、ロバート・セーヘン／絵（玉川大学出版部）
- 『たれてる』 鈴木のりたけ／作・絵（ポプラ社）
- 『ねむれないよのこと』 なかざわくみこ／作・絵（偕成社）
- 『あこがれの図書館』
パトリシア・ボラッコ／作・絵（さ・え・ら書房）

【お問い合わせ先】 檜葉町図書室（檜葉町コミュニティセンター3階） ☎0240-25-4730（月曜・祝日休館）

あおぞらこども園では、
【げんきなこども・がんばるこども・やさしいこども】
の教育・保育目標に向けて、
様々な特色ある取り組みを行っています。

あおぞら
こども園 通信

ゆずの収穫

- 双葉農業普及所の方から説明を受け、檜葉小学校5年生と一緒にゆずの収穫体験をしました。
- 子どもたちは小学生に手伝ってもらいながら一つずつ丁寧にもぎ取り、ゆずの豊かな香りと自分で収穫した嬉しさに笑顔を見せていました。



落ち葉がいっぱい!!



- 園庭の落ち葉を集めてタライやプールに入れてみたところ、1歳児は中に入って大喜び。
- 小さな手で落ち葉を集め、落ち葉が舞い散る様子を楽しんでいるかのような様子でした。

冬でも泥んこ遊びは最高!!



- 大雨の翌日、園庭にできた大きな水たまりを発見した子どもたちは、裸足になり汚れも気にせず思いっきり遊びを楽しんでいました。

サッカー教室



- 定期的に行っているサッカー教室。
- コーチの指導を受け、1つのボールをみんなで追いかけて、子どもたちだけでゲームを楽しむこともできるようになりました。

あおぞらこども園 ☎0240-26-0808

あおぞらこども園Instagram <https://www.instagram.com/naraha.kodomoen/>



甘藷栽培における 麦類の緑肥利用



左側が浜再生研の緑肥試験区

昨年、緑肥勉強会を開催し、福島県農業総合センター浜地域農業再生研究センター（浜再生研）の平山孝技術研究科長から甘藷栽培における麦類の緑肥利用について説明を受けました。現在、JA福島さくら檜葉町甘藷生産部会員の半数の方々が緑肥作物（ライ麦）の栽培にチャレンジされています。

麦類を冬季に栽培することで「土壌の団粒化」と「雑草の抑制」、「排水性と保水力の改善」等が図られるメリットがあるとされています。

一方、出穂前に鋤き込むと土づくり効果より施肥効果が高くなりますので、今回は越冬後すぐに鋤き込み作業を行うことを推奨しています。

アグリ
チャレンジ
ならは

連絡先
☎0240-23-6104

TOPIX いちごの栄養素と期待される効果!?

近年、栽培方法や品種の改良が進んだこと等により、甘くて大粒のいちごを長く楽しめるようになりました。

いちごには、美肌効果や風邪の予防にも効果があるビタミンCや貧血予防の葉酸のほか、血糖値の上昇を防ぐペクチン等の栄養素が含まれています。

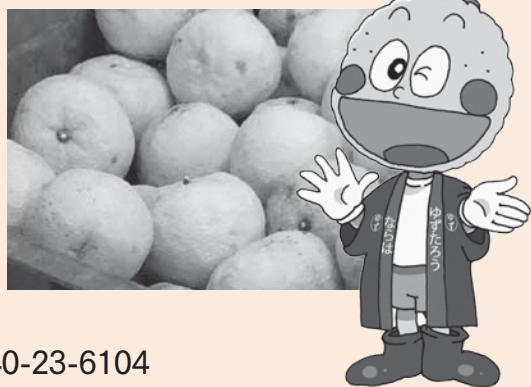
檜葉町産のいちごで、健康管理を万全に!



ゆずの木所有者の皆さまへ～令和6年産ゆずの集出荷御礼～

檜葉町ゆず生産振興組合及びゆず生産者の皆さまのご協力等により、令和6年産のゆず原材料は約2トン収穫することができました。

柑橘類には隔年結果の性質があり、ゆずはその性質が特に強いと言われています。安定的なゆず生産と病気を予防する観点から目的に応じて剪定・整枝を行うようにしましょう。



お問い合わせ先／農林水産課 ☎0240-23-6104

スポーツ・まなびの広場



大人から子どもまで、年齢に関わらず ともに楽しめる スポーツ・モルック



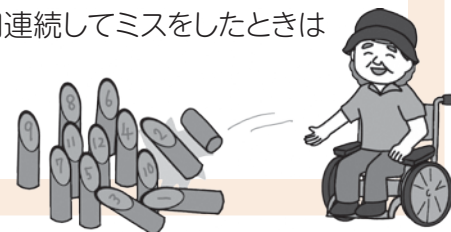
新 年を迎え、今年こそは何か打ち込んでみたいと思っている方も多いかもしれません。健康を第一に、仲間と何かを始めたいときは、気軽に始められるスポーツが良いのではないのでしょうか?今回は、ルールが分かりやすく、どなたでも楽しめるスポーツ・モルックをご紹介します。

モルック

フィンランドのカレリア地方の伝統的なキイッカというゲームを元に開発されたスポーツです。母国フィンランドでは、サウナとビールでリラックスしながら楽しんでいるゲームとも…。遊び方は木製のモルック棒1本を投げて3.5m離れた12本のスキttlに当てて点数を競うシンプルなゲームで、1対1の個人戦でも団体戦でも可能です。

代表的な ルール

- 2つのチーム（個人）に分かれ、交代でモルック棒を投げ、倒れたスキttl（数字が書いてある棒）の内容によって得点を加算していき、先に50点ピッタリになるまで得点した方が勝ちとなります。（ただし、50点を越えた場合は、25点に減点されてしまいますので注意!）
- 1本のみ倒れたときは、スキttlに書かれた点数が得点となります。（スキttlに書かれている数字は1から12まで。）
- 複数のスキttlが倒れたときは、本数を得点とします。例：4本倒れたら、4点
- 完全に倒れていないものは、得点になりません。
- チーム（個人）がモルック棒を投げる番（ターン）ごとに3回連続してミスをしたときは0点となり、そのセットは失格（負け）となります。
- モルックは車イスの方も参加することが可能です。



2月16日（日）には、Jヴィレッジ（全天候型練習場）において「モルック福島 浜通りオープン in Jヴィレッジ」が開催されます。まず試合を観戦して楽しむことも良いのではないのでしょうか?

●お問い合わせ先／生涯まなび課 ☎0240-25-2492

サステな通信

檜葉町がサステナブルな町になりますように



『檜葉町消防団 × SDGs ～その1 消防団とSDGs!?～』

消防団とSDGsの関係って何?と思われる方も多いと思いますが、実は深～いカンケイがあります。今月から2回にわたって檜葉町消防団の日々の活動や役割をお伝えします。



檜葉町消防団ってなに?

檜葉町消防団は他の本業を持ちながらも『自らの地域は自らが守る』という精神に基づき火災時や災害発生時に地域住民の生命、身体および財産を守る非常勤の地方公務員です。地域ごとに8つの分団で構成され、総勢174名の基本団員が活躍しています。(2024年12月現在)

消防団ってどんな活動をしているの?

災害発生時には現場での消火をはじめ、地震や風水害といった大規模災害発生時の救助・救出活動、行方不明者の捜索、避難誘導、水防活動など様々な現場で活躍しています。

平時には機械器具の点検や消火・防災訓練、災害の予防・警戒活動として、定期的に巡回活動を行っています。

また、地域行事やイベントでは、会場の警戒や防火協力もしています。

日頃から地域に根付き、町民のみなさんの安心と安全を守る“地域のヒーロー”檜葉町消防団です!

救命講習



放水訓練



消防車の点検、放水・救命訓練など、日ごろから有事に備えています。

防災学習



こども園や小中学校で防災学習を行っています。また、防災士の資格を有する団員も増えつつあります。

炊き出し訓練



イベントで炊き出し訓練も行っています。

防火警備



地域の行事では防火警備、会場内の巡視警備、サマーフェスティバルでは会場の一角で会場内の安全確保に努めています。会場内で消防車や団員を見かけたことはありませんか?

【第8分団】

女性のみで構成される分団。有事の際、女性や子どもの被災者に寄り添いやすい女性消防団は男性消防団とはまた違った活動をしてくれます。



Action

『檜葉町消防団出初式』1月19日(日) 8:20～

【パレードルート】旧柏屋旅館 → リサイクルハウスくるくる → 檜葉小学校北側駐車場
「父ちゃん!母ちゃん!カッコイイ!!」消防団の雄姿をぜひ沿道で!!



お問い合わせ先/くらし安全対策課 ☎0240-23-6109

おうちでならいざっふ

正月太りは幻想?それとも現実?

皆さま、新年おめでとうございます。昨年はどのような1年でしたか。皆さまにとって、本年が素晴らしい1年になることをお祈りします。

さて、年末年始は美味しいおせち料理やお餅など、御馳走をついつい食べ過ぎてしまい、気が付けば体重が増えてしまっていた、という経験はありませんか。今回は、「正月太り」という現象は存在するのか、存在するならば対処法はあるのか、といった事柄をお伝えします。



生成AIに聞いてみると…

時勢に乗り、生成AIに尋ねてみました。幾つかの生成AIに接続して、「正月太りとは?」という質問をしたところ、このような回答が返ってきました。

生成AI①	生成AI②
正月太り、気になりますよね!でも、ご安心ください。正月太りは、決して諦める必要はありません。適切な対策と少しの努力で、元の体重に戻すことは十分可能です。	正月太りは十分に何とかできます!正月期間はおいしい食事が多く、ついつい食べ過ぎたり運動不足になりがちですが、少しずつ生活習慣を整えることで元に戻せます。

突拍子も無い回答が返ってきたらどうしようかと思いましたが、それなりに無難な回答でした。

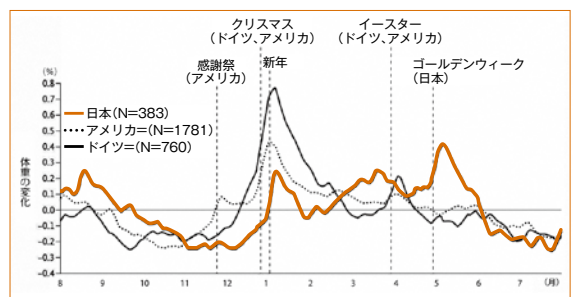
生成AIの世界にも「正月太り」は存在するようです。

季節によって体重は変動するの?

現実世界での調査結果をご紹介します。それは、日本人・アメリカ人・ドイツ人の協力を得て、1年間の体重変動を調べた研究です。

3ヶ国とも、年末年始の時期に体重が増加したほか、日本人ではゴールデンウィークの時期にも体重が増加していました。どうやら、「正月太り」は現実には存在するようです。

ちなみに、日本人の場合、性別によって体重が増加する時期が異なる傾向があるようです。男性は『年末年始』に、女性は『ゴールデンウィーク』に体重が増加する傾向が強いようです。



正月太り対策は?

正月太りは現実の出来事のようにです。それならば、具体的な対策を考えましょう。

年末年始やゴールデンウィークといった、比較的長期の休日が続くと、体重増加に影響する2つの現実と直面することが予想されます。

i 動く量が減る	・室内で過ごす時間が長くなり、消費カロリーが減少する。
ii 食べる量が増える	・飲食の機会が増えるため、摂取カロリーが増加する。

体重は消費カロリーと摂取カロリーとのバランスで決まります。

暖かい室内でゴロゴロと過ごしなが、美味しい御馳走を頂く日が続くのは幸せなことです。ただし、普段よりも消費カロリーが減少して、摂取カロリーが増加すると、体重が増えてしまうのは当然の結果とも言えます。

正月太りを解消するための対策は…

I 身体を動かす	・ウォーキングやストレッチといった、有酸素運動を日常生活に! ・筋肉量を増やすと基礎代謝量も増えるので、筋トレも効果的。
II バランスの良い食事をする	・過度な食事量の制限は禁物。 ・野菜やタンパク質をバランス良くとり、身体の調子を整えましょう。



年末年始は普段とは異なる生活リズムや食生活になりがちです。身体を動かす量が減る一方で、美味しいものを頂く機会が増え、体重が増えやすい要素が揃ってしまいます。体重変化の鍵となるのは…皆さんの筋肉量です。筋肉量が多いほど、基礎代謝量が増えるので、一時的に増加した体重も元に戻しやすくなります。

ゆず太郎

児童手当に関するお知らせ(支給対象が拡充されます)

児童手当法の一部改正により、令和6年10月分(12月期支給分)から支給対象が拡充されました。手続きが必要な世帯には9月上旬に書類を郵送しましたので、必ずお手続きをお願いします。

なお、下記提出期限日までに申請書類が提出されない場合には支給が遅れる可能性がありますのでご了承ください。申請が期限を過ぎてしまう場合でも、経過措置として令和7年3月31日(月)まで受付をしますので、**申請が必要な方は必ず申請してください。**令和7年4月1日(火)以降に申請した場合は、申請月の翌月分からの支給となり、遡って支給することはできませんので十分注意してください。

提出期限日 令和7年1月14日(火)

※上記提出期限日までに書類を提出し、児童手当受給者として認定した場合には2月5日(水)の支給を予定しています。

令和6年12月支給分(令和6年10月分)からの主な変更点

	変更前 令和6年9月分まで	変更後 令和6年10月分から
支給対象	15歳年度末(中学生)まで	18歳年度末(高校生年代)まで
所得制限	あり	なし
手当月額	・3歳未満 15,000円 ・3歳から小学校修了まで 第1子、第2子：10,000円 第3子以降：15,000円 ・中学生 10,000円	・3歳未満 第1子、第2子：15,000円 第3子以降：30,000円 ・3歳から高校生年代まで 第1子、第2子：10,000円 第3子以降：30,000円
多子加算に係る児童の数え方	高校生年代以下の児童が該当	22歳年度末(大学生年代)までの子が該当
支払期日	3回(2・6・10月) ※各前月までの4カ月分を支給	6回(偶数月) ※各前月までの2カ月分を支給

新たに申請が必要になる方
～対象者には書類を郵送しています～

- 所得上限超過によって、児童手当を受給していない方
 - 檜葉町からの児童手当の支給がない高校生年代以下の児童を養育している方
 - 檜葉町から児童手当を受給しており、大学生年代の子を含めると3人以上の児童を養育している方
- ※高校生年代とは…平成18年4月2日生まれから
平成21年4月1日までに生まれたお子さん
- ※大学生年代とは…平成14年4月2日生まれから
平成18年4月1日までに生まれたお子さん

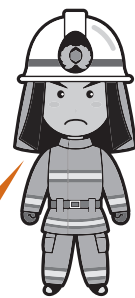
◎お問い合わせ先／こども課 子育て支援係 ☎0240-23-5515

消防署からのお知らせ

本年もより一層の「火の用心」を！
この季節は空気が乾燥し、火災が発生しやすい季節です。

火事と救急は119番

◎お問い合わせ先／富岡消防署 ☎0240-22-2119 檜葉分署 ☎0240-25-2119 川内出張所 ☎0240-38-2119



**暖房器具を
使用する際には気をつけましょう！**

使用する際のポイント！

- ①暖房器具の**近くに燃えやすい物**を置かない。
- ②必ず**人がいる時のみ**使用する。
- ③暖房器具の**消し忘れ**に注意する。

手づくりキャンドル
ワークショップ開催

NARAHAアンバサダー CANDLE JUNEさんのキャンドルづくり体験教室を開催します！
世界にひとつだけのキャンドルをつくって、夜空の下で灯してみませんか。

- 日 時／2月9日(日) 13:30～15:00
- 場 所／みんなの交流館 ならはCANvas
- 参加費／お一人300円
(檜葉町にお住まいの小学生以下の方は無料)
- 定 員／20名
- 受付期間／2月7日(金)まで
(定員に達し次第締め切りとなります)
- 受 付／くらし安全対策課 窓口 または☎0240-23-6109

※この事業は、東日本大震災の記憶を未来につなぐことを目的として、3.11伝承ロード推進機構の支援により実施しています。



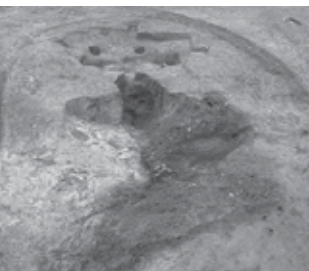
第4回檜葉町企画展「国策を支えた鉄路～常磐線」

令和6年12月21日から令和7年3月30日まで大地とまちのタイムラインロビー(檜葉町コミュニティセンター1階)にて、明治31年の開通以来国策を支えた続けた常磐線の歴史とその敷設のドラマを当時の文書や写真などを通して紹介します。そこからは隧道掘削・築堤工事などの難事業を寧ろ誇りとした人間たちの気概が伝わって来るようです。



まほろん企画展
「復興祈念展一人びとのいとなみの継承～」のお知らせ

- 会 期／前期展：1月25日(土)～3月16日(日)
後期展：4月 1日(火)～5月 6日(火・振休)
- 場 所／福島県文化財センター白河館(まほろん)
白河市白坂一里段86 ☎0248-21-0700
- 入場料／無料
- 内 容／双葉町・大熊町にある中間貯蔵施設内の遺跡と、檜葉町・富岡町・浪江町の復興道路に伴う遺跡調査の成果をまほろん収蔵資料等から紹介します。なお、檜葉町の資料は、前期展で展示します。



檜葉町南代遺跡 10号製鉄遺跡

インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症
予防接種期間について

小児インフルエンザ・高齢者インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症の予防接種の助成期間は、**令和7年1月31日(金)まで**となります。

期間内に接種が完了しないと、助成の対象ではなくなりますので、ご注意ください。

対象者

- 小児インフルエンザ
接種日に13歳～18歳の方 1回
接種日に生後6か月～12歳の方 2回
- 高齢者インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症
接種日当日に檜葉町に住民登録があり、次のいずれかの要件に該当する方(助成回数：1回)



- 接種日に65歳以上の方
- 接種日に60歳～64歳で、心臓や腎臓、呼吸器の機能に障害があり身の回りの生活を極度に制限される方。ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害があり日常生活がほとんど不可能な方(身体障害者手帳1級相当)

対象者の方には、町よりご案内を送付しておりますが、予診票や助成申請書の再交付も可能ですので、保健福祉課保健衛生係までお問い合わせください。

また、インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症の予防接種は、受けなければいけないという法律上の義務はありません。自らの意思で接種を希望する場合に予防接種を行いましょう。

◎お問い合わせ先／保健福祉課 保健衛生係 ☎0240-23-6102

元気アップ教室

Jヴィレッジフィットネスジムのトレーナーが、運動やストレッチ等を支援します。

■日時／1月8日(水)・1月22日(水)・2月12日(水) 13:30～15:00

■会場／みんなの交流館 ならはCANvas

リフレッシュヨガ

呼吸、ポーズ、瞑想を組み合わせ行い、普段使っていない筋肉を目覚めさせます。

■対象者／参加要件※を満たしている方 ※参加要件…医師から運動制限に関する指示等を受けていないこと。

■定員／25名程度

■日程・場所／

日にち	時 間	場 所
1月15日(水)	① 13:15～14:15	① みんなの交流館 ならはCANvas
1月29日(水)	② 14:45～15:45	② 地域活動拠点「まざらっせ」
2月 5日(水)		

■内 容／理学療法士兼ヨガインストラクターによるリフレッシュヨガ

■持 ち 物／タオル・運動しやすい服装・水分(水筒またはペットボトル)・ヨガマット(お持ちの方)

■申込方法／保健福祉課保健衛生係にご連絡ください。先着順にお申し込みを受け付けます。

■注意事項／都合により日程・内容等が変更となる場合があります。

●お申し込み・お問い合わせ先／保健福祉課 保健衛生係 ☎0240-23-6102

1～3月デュークズウォーキング教室の開催

1～3月のデュークズウォーキング教室を次の日程で開催します。
初めての方も、町民以外の方も参加可能です。皆様のご参加、お待ちしております！

■講 師／五十嵐KAZUKO氏(デューク更家公認ウォーキングスタイリスト)

■日時・会場／①1月18日(土)13:30～15:00 榎葉中学校武道館
②2月15日(土)13:30～15:00 Jヴィレッジホール
③3月29日(土)13:30～15:00 榎葉中学校武道館

■持 ち 物／上ばき(スニーカー等)、飲みもの、タオル

●お申し込み・お問い合わせ先／保健福祉課 国保年金係 ☎0240-23-6102

令和6年度県民健康調査「健康診査」のご案内

福島県と福島県立医科大学では、県民の皆さまの健康を見守り、将来にわたる健康増進につなげていくため、県民健康調査「健康診査」を実施しています。

このうち、16歳以上の方を対象とした県内の集団・個別健診を令和7年1月から3月まで実施しています。
対象の方には、受診のご案内を令和6年12月に発送しています。ご自身の健康状態を把握するために、ぜひこの機会をご活用ください。健診費用は無料です。

案内を紛失された場合には、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

対象者	令和6年4月1日に16歳以上で福島県内在住の町民。 ○町や職場の特定健康診査・総合健診で県民健康調査の追加項目を受診された方は、今回の健診の対象外となります。 ○県外にお住まいの方には県外健診のご案内をお送りしております。県内での受診を希望される場合は、下記お問合せ先までご連絡下さい。
受診方法	県内協力医療機関での個別健診、もしくは県内公共施設等での集団健診のいずれかを選択して受診できます。
※注意事項	受診する際は次の項目に気を付けてください。 ・受診する前に体温測定をしましょう。 ・体調不良や発熱などの風邪症状がある場合は受診を控えましょう。 ・マスクの着用を推奨します。

●県民健康調査に関するお問い合わせ先／福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター
☎024-549-5130(年末年始を除く平日9時～17時)
メール:kenkan@fmu.ac.jp

2025年農林業センサスの実施について

農林水産省では、令和7年2月1日を基準日として「2025年農林業センサス」を実施します。

期間中、調査員が農林業関係者を訪問しますので、調査へのご協力をお願いします。

■対 象 者／全国の農業・林業を営むすべての方

■調査期間／令和7年1月上旬～2月末

●お問い合わせ先

DX推進室 ☎0240-23-6103

または農林水産省 経営・構造統計課センサス統計室 ☎03-3502-8111

JAEAからのお知らせ 令和6年度 原子力機構 福島廃炉安全工学研究所 成果報告会の開催について

原子力機構は、福島廃炉安全工学研究所における福島第一原子力発電所の廃炉及び福島県内の環境回復に向けた研究開発の活動で得られた成果について、以下のとおり報告会を開催いたします。

■開催日時／1月31日(金)

10:00～16:50(予定)

■開催場所／いわき芸術文化交流館アリオス 中劇場

■開催方式／ハイブリッド開催

(ご来場及びオンライン) ※入場無料

■申込方法／QRコードから申込フォームにアクセスし、必要事項を入力後、お申し込みください。



●お問い合わせ先

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
福島廃炉安全工学研究所 運営管理部 総務課
☎0246-35-7650 FAX 0246-24-4031
E-mail:fukushima-hokokukai@jaea.go.jp

各地区の「とり小屋」※12月上旬の情報を元に作成しています。

下 繁 岡 地 区	■日時／1月11日(土)10:00～ ■場所／下繁岡字篠柄26-1(水田)	北 田 地 区	■日時／1月8日(水)18:00～ ■場所／北田字縄手下地内(水田)
上 小 埜 地 区	■日時／1月7日(火)17:00～ ※雨天中止 ■場所／上小埜字宮平1(木戸八幡神社前)	下 井 出 地 区	■日時／1月11日(土)16:00～ ■場所／下井出字三平下地内(一本松周辺)
山田岡・山田浜地区合同	■日時／1月11日(土)16:30～ ■場所／山田岡字南作地内(霊泉寺前)	大 谷 地 区	■日時／1月11日(土)17:00～ ■場所／大谷字磐前20-1(水田)
前 原 地 区	■日時／1月8日(水)18:00～ ■場所／前原字岡崎地内(前原集会所南側 畑)		

福島広域雇用促進 支援協議会からのお知らせ

【求職者向け】「社会人基礎力セミナー」

【参加無料】

若者のモチベーションアップ！

ベテラン世代の学び直し！

NLPコミュニケーション(言葉と心の使い方・自己変換ツール)を用い、柔軟性、傾聴力、状況把握力、ストレスコントロール等を見直し、採用面接や就職後にも役立つ基礎力が学べます。

やる気と行動力をグングン引き出すセミナーです。

■日 時／2月6日(木)13:00～15:00

■会 場／ハローワーク富岡

■定 員／6名(申込多数の場合は抽選)

■申込期日／2月5日(水)

※詳細はホームページをご覧ください。

働きたいネットの就職応援マルシェ
【出張求職者カフェ】

【参加無料・予約不要】

ハローワーク富岡に求職者カフェがやってきます！
就職活動に役立つ支援が無料で受けられます。
是非お越しください。

■日 時／1月29日(水) 9:00～12:00

■会 場／ハローワーク富岡 2階会議室

■支援メニュー／・証明写真撮影

※撮影希望の方はスーツ等の着用が
おすすめ！貸出用ジャケット有

・応募書類作成
・面接対策
・適職診断 等

●お問い合わせ先

ホームページ [働きたいネット](#) で検索
福島広域雇用促進支援協議会 福島統括窓口
福島市中町4-20 エスケー中町ビル202号
☎024-524-2121 FAX024-524-2125



☆ふらっと～ながら～☆

～檜葉町地域学校協働センター 家庭教育支援サロン～

あおぞらこども園 子育て支援センターで
毎週火曜日に開催しています。

何かをしながら(お茶を飲みながら、遊びながら等)、ホッと一息つける場所です。子育てや孫育てについて、その他生活に関することなどゆっくりお話しませんか？



どなたでもふらっと気軽に立ち寄りください。子育て経験や保健師経験があるスタッフみなでお待ちしています！

☆場所／あおぞらこども園 子育て支援センター

☆日にち／毎週 火曜日
(1月は7日・14日・21日・28日)

☆時間／10:00～15:00

☆対象／妊婦さん～子育て中の保護者の方・祖父母の方😊

☆申し込み／なし

●お問い合わせ先／こども課 ☎0240-23-5515
地域学校協働センター
☎070-3798-5557

1月の納税等

忘れずに納めましょう。



■国民健康保険税(7期) 納期限:1月31日(金)

●お問い合わせ先
町民税務課 ☎0240-23-6101

■後期高齢者医療保険料(6期) 納期限:1月31日(金)

●お問い合わせ先
保健福祉課 ☎0240-23-6102

※口座振替の方は1月31日(金)に引き落としとなりますので
残高の確認をお願いいたします。

おめでとうございます(敬称略)

氏名	保護者名	行政区
いがらし 五十嵐 翠	翔・葵	北田

(広報ならは12月号掲載以降にお生まれになられた方)

お悔やみ申し上げます(敬称略)

氏名	年齢	行政区	氏名	年齢	行政区
井戸川則隆	90	下井出	猪狩 信	54	下小埜
横田 カン	98	上小埜	飯島トシ子	87	山田岡
阿部 和子	91	上井出	早川 孝行	81	上小埜

(広報ならは12月号掲載以降亡くなられた方)

🌸1月の子育て情報🌸



乳幼児健康診査

対象のお子さんには通知を送りますので、ご確認ください。

■対象／(4か月児健康診査)
令和6年9月～令和6年10月生まれ
(10か月児健康診査)
令和6年3月～令和6年4月生まれ

■日にち／1月15日(水)

■受付時間／12:30～13:00

■会場／あおぞらこども園 子育て支援センター
■内容／身体測定、内科診察、お口の健診、
栄養相談、保健指導

ベビママ教室

子どもの応急処置について、消防署の方に教えていただきます！

■対象／就園前のお子さんと保護者

■日にち／1月21日(火)

■受付時間／9:30～10:00

■終了時間／11:30ごろ

■会場／あおぞらこども園 子育て支援センター
■申し込み／事前にこども課へご連絡ください。

ふたば教室

お子さんの言葉や発達についての相談や子育ての相談など、教室を通して専門職がアドバイスします。広野町、檜葉町、富岡町合同で行っている教室です。

■対象／就学前のお子さんと保護者

■日にち／1月28日(火)

■受付時間／9:45～10:00

■終了時間／11:30ごろ

■会場／富岡町保健センター

■申し込み／事前にこども課へご連絡ください。

母子健康相談

妊娠期の心配・不安なこと、お子さんの成長・発達のこと、子育てのことなど、保健師に相談できます。

■対象／妊娠期～就学前までのお子さんと保護者

■日にち／2月6日(木)

■時間／10:00～12:00

■会場／あおぞらこども園 子育て支援センター
■申し込み／事前にこども課へご連絡ください。

●お問い合わせ先
こども課 子育て支援係 ☎0240-23-5515

住民税の申告・所得税の申告相談受付のお知らせ

令和7年度住民税の申告(令和6年1月1日から令和6年12月31日までの1年間に生じた収入の申告)及び所得税の申告相談受付を次の日程で行います。

■受付期間

2月17日(月)～3月14日(金) 9:00～15:30

※2月28日(金)及び3月7日(金)の両日は受付時間を延長し18:00まで実施します。

※最終日3月14日(金)は12:00までの受付となりますのでご注意ください。

※期間中の土、日及び祝日は実施しません。

■会場

檜葉町コミュニティセンター 大会議室

■注意事項

- 相談受付期間中は大変混み合いますので、営業、農業、不動産等の各種事業主様については、予め収支内訳書を作成の上ご来場ください。
- 医療費控除についても収支内訳書を作成の上ご来場ください。
- 令和6年中の収入が無い方やご家族の扶養になっている方でも、住民税の申告は必ず必要となります。(証明書発行や各種保険料の算出、給付金の判定等に必要の情報となります。)収入が無い方や、申告の必要・扶養の判別が不明である方については、電話での申告・相談が可能ですので、町民税務課までご連絡ください。

●お問い合わせ先／町民税務課 ☎0240-23-6101

相馬税務署からのお知らせ

1 ご自宅からスマホでスマートな確定申告してみませんか？

国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」を利用すれば、ご自身のスマートフォン・タブレット等で、ご自宅から所得税の確定申告ができます。

◎入力画面が大幅にリニューアルされ見やすくなりました!!

◎青色申告決算書や収支内訳書の作成も入力可能!!

◎ご自宅からe-Taxで24時間申告することができます!

申告に必要なもの

○マイナンバーカード

○マイナンバーカード読取対応のスマートフォン

○マイナンバーカードのパスワード2つ

①署名用電子証明書(英数字6～16文字)

②利用者証明用電子証明書(数字4桁)

確定申告書等作成コーナー



動画で見る確定申告



2 令和6年分の所得税等の確定申告書作成会場について

令和6年分の所得税(及び復興特別所得税)、消費税(及び地方消費税)及び贈与税の確定申告期における申告書作成会場は、次のとおり開設する予定です。

○開設場所 『相馬市振興ビル6階』 相馬市中村字塚ノ町65-16

○開設期間 令和7年2月17日(月)から3月17日(月)《土・日・祝日を除く》

○受付時間 午前9時から午後4時

※申告書作成会場では、原則としてご自身のスマートフォンやタブレットを操作して確定申告書を作成します。マイナンバーカード(暗証番号:数字4桁、英数字6～16桁)も忘れずにお持ちください。

※スマートフォンやタブレットでの確定申告書作成は、マイナポータルとの連携でスムーズに申告書作成できますので、来場前にマイナポータルのインストールなど事前準備の上、ご来場ください。

※会場への入場には「入場整理券」が必要です。「入場整理券」は、LINEを通じたオンラインによる事前発行が可能です。会場でも当日券は配布します(配付状況に応じて、後日の来場をお願いすることもあります。)

※開設期間中は、税務署内での申告書作成相談を行っておりません。

※会場の駐車台数には限りがありますので、公共交通機関等をご利用ください。

※書面での申告書提出は、郵送をお願いします(申告書作成会場では受け付けておりませんので、持参する方は税務署へ提出をお願いします。)

なお、令和7年1月から、申告書等の控えに収受日付印の押なつてを行っておりません。書面での申告書等の提出(郵送)の際は、申告書等の正本(提出用)のみ提出(郵送)して下さい。

●お問い合わせ先／個人課税部門 ☎0244-36-3111

譲渡・売買が可能な町内産農産物

現在福島県では、放射能検査を行い安全な農産物が流通・消費される体制を整えています。
年度毎に町内において1品目あたり1検体以上、県の放射能検査を実施する必要があります。
下の表は、令和6年4月1日から12月2日までに県で行われた、検査結果です。

この表に、含まれない農産物の譲渡・売買はできません。(野生に自生する物も含まれます)

【譲渡・売買が可能な農作物】 (令和6年12月2日現在)

野 菜	赤しそ	アスパラガス	えごま(葉)	オータムボエム	大葉
	オクラ	かぼちゃ	カリフラワー	キャベツ	きゅうり
	空芯菜(くうしんさい)	コーララビ	小ねぎ	こまつな	さといも(茎)
	サニーレタス	さやいんげん	さやえんどう	サンチュ	ししとうがらし
	シュンギク	食用きく	シロウリ	すいか	ズッキーニ
	スナッパえんどう	チンゲンサイ	ツルムラサキ	とうがらし	トウモロコシ
	トマト	なす	菜花	ニガウリ	ニラ
	ねぎ	白菜	バジル	パセリ	葉大根
	葉玉ねぎ	ハヤトウリ	ビタミン菜	ふき	ピーマン
	ブロッコリー	べんり菜	ほうれんそう	みずな	ミニトマト
根菜・芋類	みょうが	むかご	メロン	モロヘイヤ	ルッコラ
	エシャロット	かぶ	キウイモ	ごぼう	さつまいも(かんしょ)
	さといも	じゃがいも(パレイショ)	大根	ながいも	玉ねぎ
果 実	にんじん	にんにく	はつか大根	ヤーコン	
	いちじく	うめ	かき	カボス	キウイフルーツ
	みかん	ユズ	レモン	レモン	

※栽培は肥培管理されているもので、山取り(野生)をのぞきます。

上の表に含まれない農産物等を譲渡・売買したい場合は、まず農業普及所に問い合わせ、県の放射能検査を受けてください。
●お問い合わせ先／福島県双葉農業普及所 ☎0240-23-6474 農林水産課 ☎0240-23-6104

檜葉町公共施設等モニタリング調査実施結果(12月実施分)

- 調査期間 令和6年12月3日(火)
- 測定器 NaIシンチレーションサーベイメータ(空間放射線量率測定用サーベイメータ)を使用
- 測定方法 地表面から高さ1m及び高さ1cmの空間線量率を測定(くらし安全対策課職員が実施)。
測定器を水平に保ち、約30秒ほど経過させて測定値が安定したことを確認し、10秒ごとに測定値を5回読み取り、その平均値を記載(県指定測定方法に基づき実施)。
- 測定結果

測 定 箇 所		測定値(μSv/h)	
		今月測定値	
		地上1.0m	地上1.0cm
檜葉町役場	(玄関前)	0.09	0.09
檜葉町公民館	(玄関前)	0.09	0.09
檜葉町コミュニティセンター	(ロータリー)	0.15	0.17
萩平地区集会所	(玄関前)	0.12	0.11
浄光西地区集会所	(玄関前)	0.10	0.10
向ノ内地区集会所	(玄関前)	0.14	0.13
下繁岡地区集会所	(玄関前)	0.12	0.11
営団地区集会所	(玄関前)	0.12	0.10
波倉地区集会所	(玄関前)	0.09	0.10
ぼらぐち	(自宅門扉前)	0.19	0.15
繁岡地区集会所	(玄関前)	0.10	0.11

※全測定結果は、ホームページから閲覧することができます。
※測定箇所は、北部と南部に分けて2か月に1度測定しています。
※11月、12月に実施した最大測定値
▶地上1m:塩貝の大力ヤ(駐車場)、ぼらぐち(自宅門扉前)0.19μSv/h ▶地上1cm:塩貝の大力ヤ(駐車場)0.19μSv/h
●お問い合わせ先／くらし安全対策課 放射線対策係 ☎0240-23-6109

檜葉町内居住者集計表(令和6年11月30日現在)

【住民基本台帳人口】

世帯数	男	女	人口(外国人含む)
3,182	3,337	3,086	6,423

【町内居住者】

行政区	世帯数	人数	行政区	世帯数	人数
上井出	283	518	上小壩	100	217
下井出	329	431	下小壩	232	542
北 田	395	791	山田岡	312	581
大 谷	146	254	前 原	59	110
松 館	45	104	山田浜	42	85
上繁岡	61	116	女 平	14	27
繁 岡	97	155	大 坂	12	26
下繁岡	98	210	小 計	771	1,588
波 倉	26	49	合 計	2,410	4,470
営 団	157	251			
乙次郎	2	3			
小 計	1,639	2,882	町内居住率	75.74%	69.59%

【町内居住者年代別集計表】

	人数		人数
0～4歳	160	60～64歳	345
5～9歳	135	65～69歳	391
10～14歳	121	70～74歳	370
15～19歳	145	75～79歳	282
20～24歳	225	80～84歳	221
25～29歳	280	85～89歳	176
30～34歳	221	90～94歳	92
35～39歳	210	95～99歳	43
40～44歳	226	100～104歳	6
45～49歳	260	合 計	4,470
50～54歳	277		
55～59歳	284		

檜葉町内 町内居住者数／当月末の町内に居住する者の数。
居住者について 町内居住率 町内居住率(%)= 町内居住者数 / 住民基本台帳人口(月末)

水道水中における放射性物質のモニタリング結果

■採 水 場 所:小山浄水場

■水 源:木戸川(ダム放流水)

■採水年月日:令和6年11月1日～30日

■採 水 場 所:北林配水池

■水 源:寺下・中川原水源池(浅井戸・伏流水)

■採水年月日:令和6年11月1日～30日

ヨウ素131	セシウム134	セシウム137
ND	ND	ND

ヨウ素131	セシウム134	セシウム137
ND	ND	ND

※いずれの検体も、11月30日時点で放射性物質は不検出です。
※「ND」とは、一定の条件で測定機器が検出できる最小値(1Bq/kg)未満であることを示しています。

測定機関:双葉地方水道企業団
分析装置:ゲルマニウム半導体検出器 / 検査頻度:毎日
測定方法:水道水等の放射能測定マニュアル(厚生労働省)

《参考》検査日現在の目標値 (単位:Bq/kg)			
	ヨウ素131	セシウム134	セシウム137
食品衛生法の規定に基づく新たな基準による目標値	—	10	
※これまで暫定規制値が設定されていた放射性ヨウ素については、半減期が短く、国に平成23年7月15日以降の検出報告がないことから、規制の対象から除外されました。			

檜葉町 令和6年度		双葉地方水道企業団 水道修理事当番表 (令和7年1月～3月)			
指定給水工事業者名	年・月	令和7年			
		1月	2月	3月	
草野建設(株)	0240-25-3121	1日 6日～12日	3日～9日	3日～9日 31日	
榑彩輝	0240-25-2585	2日 13日～19日	10日～16日	10日～16日	
(有)吉田設備	090-3982-3422	3日 20日～26日	17日～23日	17日～23日	
(有)村井設備	0246-38-6855	4日・5日 27日～31日	1日・2日 24日～28日	1日・2日 24日～30日	

町で実施した自家消費食品等の放射能簡易検査結果

令和6年11月分の自家消費食品等放射能簡易測定所で実施した食品等の放射能検査結果となります。

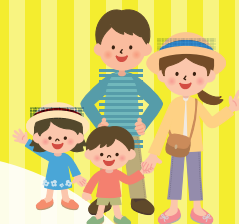
食 品 別	11月分	測定物(基準値超数／検体数)			
	検体数	最小値～最大値(Bq/kg)			
山菜類	3	ユズ (0/3) ND			
野菜類	9	トウガン (0/1) ND	サツマイモ (0/1) ND	ハクサイ (0/2) ND	ダイコン (0/3) ND
		人参 (0/1) ND	カブ (0/1) ND		
合 計	12				

※区分は県の区分に従いました。色字は検査した食品のうち国の基準を超えた検体数です。
※国の基準(平成24年4月1日施行)は、一般食品で1キロ当たり100ベクレル、飲料水で10ベクレル、牛乳や乳児用食品は、50ベクレルです。
※依頼された検査品の最小値と最大値を記載しています。
※「ND」は「Not Detected」の略です。「不検出」の意味で、検出限界以下であることを示す場合に用います。
※従来の詳細な測定値の表は、ホームページで随時公開しています。

●お問い合わせ先／農林水産課 ☎0240-23-6104



檜葉からはじめる生きがいがづくり
～つくる・つながる・支えあう～



ならは

2024

農福フェス



ならSUNフェス×ならはコミュニティコレクション



11月23日、農業の祭典「ならSUNフェス」と福祉の祭典「ならコレ」の合同イベント「ならは農福フェス2024」が開催されました。

檜葉中学生による「よさこい」で盛大にスタートした当日イベントは、多くの出展の他、森林環境交付金を活用した木工教室、ならSUNフェスでお馴染みの餅まきや農業と福祉の連携をテーマにした寸劇、打楽器奏者のASA-CHANGによるタイコのワークショップ、さらには人気お笑い芸人「あばれ君」によるトークショーと盛りだくさんなイベントとなり、当日は2,500人を超える皆様に来場いただきました。

年々、農産品が増えている農産物品評会では、多くの生産者から応募された野菜がズラリと並び、檜葉の農業の質の高さが表れていました。また、ステージでは地域で活動している団体が日頃の活動の成果を発揮し、会場を大いに盛り上げました。

「檜葉の農産物の魅力」と「誰もが生きがいを持って自分らしく暮らしていく町」それらが十分に表れたイベントとなりました。

11月23日、農業の祭典「ならSUNフェス」と福祉の祭典「ならコレ」の合同イベント「ならは農福フェス2024」が開催されました。

檜葉中学生による「よさこい」で盛大にスタートした当日イベントは、多くの出展の他、森林環境交付金を活用した木工教室、ならSUNフェスでお馴染みの餅まきや農業と福祉の連携をテーマにした寸劇、打楽器奏者のASA-CHANGによるタイコのワークショップ、さらには人気お笑い芸人「あばれ君」によるトークショーと盛りだくさんなイベントとなり、当日は2,500人を超える皆様に来場いただきました。



褒章名	受賞名
福島県知事賞	餌取賢次(ゆず)
檜葉町長賞	松本嘉子(さつまいも)
檜葉町議会議長賞	菊地力ツ(里芋)
檜葉町農業委員長賞	大山伸一(人参)
福島さくら農業協同組合 ふたば統括センター統括部長賞	橋本盛一(ブロッコリー)
JA福島さくら ふたば地区檜葉町甘藷生産部長賞	山内茂樹(さつまいも)
檜葉町ゆず生産振興組合長賞	松本孝夫(ゆず)





初日の出は天神岬で!!

【予想時刻】

2025年1月1日 午前6時53分ごろ

天神岬スポーツ公園

(福島県双葉郡檜葉町大字北田字上ノ原27-29)

● 駐車場あり ●



檜葉町役場連絡先一覧

檜葉町役場

- 総務課 0240-23-6100
- 町民税務課 0240-23-6101
- 保健福祉課 0240-23-6102
- 政策企画課 0240-23-6103
(DX推進室含む)
- 農林水産課 0240-23-6104
(農業委員会含む)

- 土地改良区 0240-23-6137
- 産業創生課 0240-23-6105
- 建設課 0240-23-6106
- 暮らし安全対策課 0240-23-6109
- 出納室 0240-23-6131
- 議会事務局 0240-23-6132

- こども課 0240-23-5515
- 生涯まなび課 0240-25-2492
コミュニティセンター
0240-25-4701
- あおぞらこども園
(子育て支援センター)
0240-26-0808

防災無線

防災無線の内容を電話で
確認できます。
0240-25-5805
0240-25-5806

〒979-0604 双葉郡檜葉町大字北田字鐘突堂5番地の6
TEL 0240-25-2111 FAX 0240-25-5564 E-mail:naraha@town.naraha.lg.jp
【土日祝日は日直対応 8:30~17:15】



檜葉町をちょっと
のぞいてみませんか?
**檜葉町
公式SNS**



ホームページ



X (旧Twitter)



Facebook



Instagram



LINE



YouTube



あおぞらこども園
Instagram